

11月26日(火)

25日(月)は代休だったため、火曜日から学校が本格的に始まりました。ホワチョン生たちは朝に職員室で挨拶をし、高等部生各バディーとともに授業に参加しました。特に理系科目などはシンガポールで習っていることと重複することも多く、おもしろかったと言っていました。

3時間目は、本校教員による学校案内が行われました。ホワチョン生は、施設や取り組みに興味津々でした。特に、この受入プログラムに向け、ご厚意でシンガポールの装飾をしてくださっていた図書室では大喜びで、シンガポールについて書かれた日本の本を熱心に見ていました。



昼休みは、昨年度の訪問でバディーを組んだ、現在3年生の本校生徒たちとランチをとりました。半年ぶりの再会に、一同とても嬉しそうでした。



午後は、高槻市都市交流協会のサポートのもと、高槻市エネルギーセンターに社会見学に行きました。ゴミ処理技術や施設、焼却の際の廃熱を電気エネルギーに変える仕組み、職員の皆さんの熱心な取り組みを目の当たりにし、学ぶことが非常に多かった様子でした。協定相手校では、海外研修の際、訪問国・訪問地域が社会的にどのような問題を抱えており、その問題にどう向き合っているかを学ぶ機会を設け、地球規模の問題解決能力の育成に取り組んでいます。その意味でも、充実した施設訪問となりました。



エネルギーセンターを後にし、帰校した頃には本校の国際交流委員の生徒たちがパーティーの準備を整えてくれており、全校生徒を対象に、国際交流委員主導の交流パーティーが開かれました。ゲームや歓談などを通して、バディー以外の生徒たちとも交流でき、お互いに良い時間を過ごせたようです。



交流パーティーの後はホームビジットです。事前にご応募いただいたご家庭の皆様にご協力いただき、日本の家庭生活を体験します。晩ご飯をごちそうになっただけでなく、ピアノ演奏を聴いたり、生け花を体験したり、けん玉で遊んだり、豊かで楽しいひとときを過ごしたようです。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。